

6



マニアックビューティREPORT

ケミカルピーリングといえば古い角質を取り去る施術と思っていたら、今はもっと肌の奥深くをエイジングケアできると聞きつけ、リサーチしてきました。

撮影/藤澤由加 イラスト/きくみリス(Gotfriend LLP) 取材/文/小田ユイコ 企画/清田恵美子(MAQUIA)

今までの
ピーリングと
何が違うの？

今月のキーワード

ピーキューエイジ

PQAgeピーリング

ケミカルピーリングといえば、ひと皮むけてキレイになるものの、濃度が合わないでピリピリしたり、赤くなることも。特に敏感肌の小田にとっては、用心しながら受ける施術です。ところが「次世代ピーリング」と呼ばれるピーリングは、限りなく低刺激で、しかも毛穴も小ジワもないツヤ肌に生まれ変わると評判。「次世代ピーリング」の中でも今注目を集める、PQAgeピーリングを取材してきました。

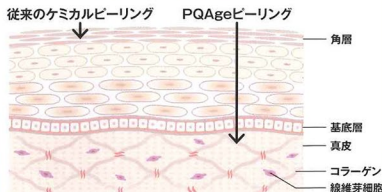


美容皮膚科医
中野あおい先生
あおいクリニック銀座
院長。長年にわたる国際
アンチエイジング美容医
学会に参加。最新の美
容医療技術の研鑽を積む。

剥離だけのピーリングはもう古い。美容成分を「奥」に届ける次世代ピーリング

ケミカルピーリングといえば、グリコール酸や乳酸で肌表面を剥離する施術？「そのタイプは古典的。今は、美肌を邪魔する不要な角層を取り去るのほもちろん、肌の奥まで浸透して再生を促す『次世代ピーリング』の時代です」と中野あおい先生。かつて肌の奥のほうまでむけるブルーピールというのが流行ったけれど、ダウンタイムがやけどのようで、小田には無理だったんですが……。『あれからすごく進化したんですよ。ブルーピールはTCA(トリクロロ酢酸)という刺激の強い酸を使い、確かに肌が繊細な日本人には不向き。次世代ピーリングの中でもモノクロロ酢酸を使ったPQAgeピーリングは、刺激や皮膚がボロボロ剥がれてくることがほとんどなく、それでいて真皮まで浸透。ピーリングなのに、ハリや弾力まで取り戻せるんです！

真皮まで到達し、シワ、たるみを改善



従来のグリコール酸や乳酸のピーリングが角層までのケアなのに対し、PQAgeピーリングは真皮まで到達。古いコラーゲンを分解し、線維芽細胞に働きかけて真皮の再生を促す。

その他の次世代ピーリングって？

PRX-ピーリング

TCA(トリクロロ酢酸)に過酸化水素水を加え、ダウンタイムを抑えながらピーリング。押し込むように浸透させ真皮から改善。

Vカーボンピーリング(ブラックピール)

フェルラ酸、マンデル酸、乳酸に植物性活性成分を組み合わせたピーリング。不要な角層や老廃物を穏やかに剥離し、リフトアップ。



小田が
体験
しました！

敏感肌の小田でも ピリピリ感なし！ 内側からのハリ感アップ

塗る薬剤はモノクロロ酢酸、筋肉の緊張を和らげるポリペプチド、成長因子、コジシ酸、コエンザイムQ10などのカクテル。肌の色ムラ、毛穴、シワやたるみ、ニキビ跡を総合的にケアできる。



顔を引き上げるなどしながら押し込むように薬剤をなじませ、15〜25分おく。その後中和して、施術終了。途中も施術前後赤みやピリピリ感なし！ 肌の緊張が解けた。肌がピンと張ってなめらかになり、光がめぐる肌。あおいクリニック銀座 PQAgeピーリング 1回¥18000。http://aoi-clinic.com/



肌がなめらかになって
ハリツヤがアップ

AFTER

BEFORE



いずれ注入や マシン治療を 凌駕する日が来る!?

そうは言っても、ピリピリくるんだろうなと身構えていた小田。意を決してPQAgeピーリングの施術を受けたところ、痛みやほてりは全く感じず、拍子抜けするほど。撮っていたカメラマンも「全然赤くならないですね」と。少しの刺激でも赤くなってしまいう小田としてはびっくり。施術直後から肌のハリ感、明るさを感じたけれど、2〜3日後から毛穴がより目立たなくなり、日増しにメイクのりがアツブ。「同じような効果はレーザーやフォトフェイシャル、注入系の施術でもできるけれど、ピーリングのほうがより手軽。マシンを導入する必要もないので、価格面でもお手頃を提供できます。ただし、肌になじませるときのテクニック、肌質を見極めた時間のおき方で効果に差が出るので、しっかり研鑽を積んだ医師のもとで受けてください」と中野先生。確かに、マシンや針のストレスがない分、エステを受けているようにリラックス。これで気になるシワ、たるみ、くすみ、毛穴をトータルでケアできるなら、定期的に続けたい!と思った小田でした。